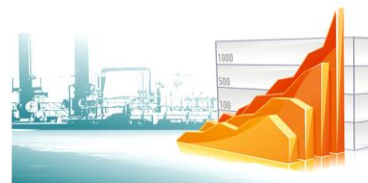


# ぎふ経済レポート



令和元年11月分  
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは 11月26日～28日を中心に実施し、12月13日に作成。

# 景気動向

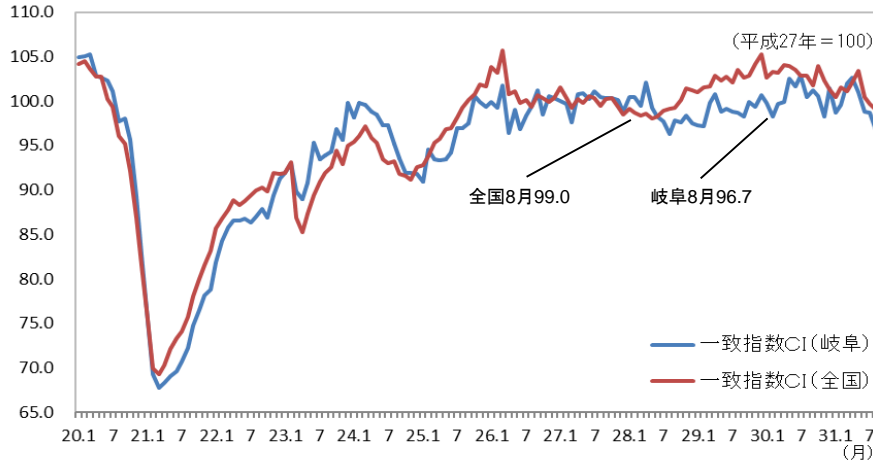
○8月の景気動向指数(一致指数)は、96.7で前月比▲2.0ポイントと悪化した。

○10月の県内中小企業の景況感は、▲40で前月比▲9ポイントと悪化した。

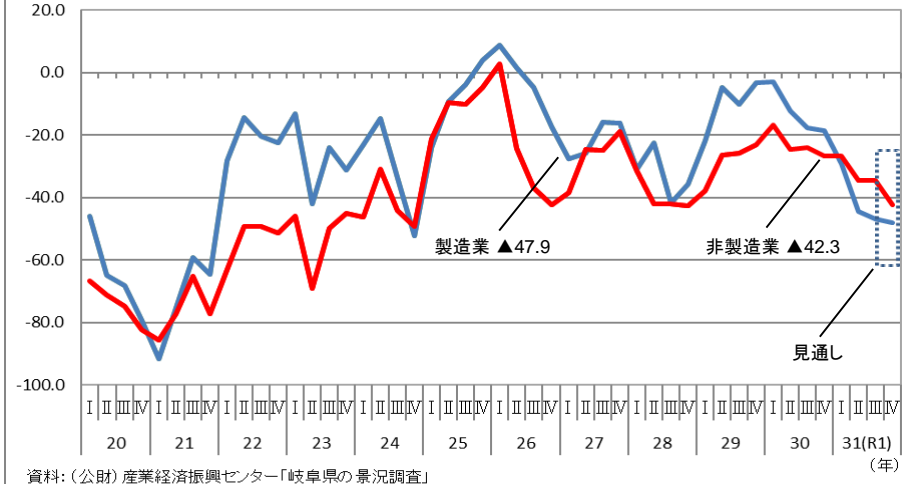
○10-12月期の景況DI見通しは、製造業で▲1.2ポイント、非製造業で▲7.7ポイントと悪化。

○同売上高DI見通しは、製造業で▲7.7ポイント、非製造業で▲14.2ポイントと悪化。

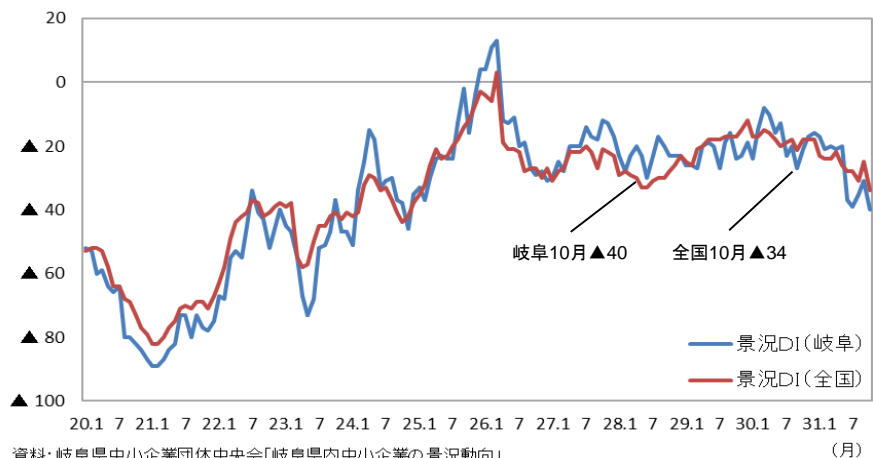
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



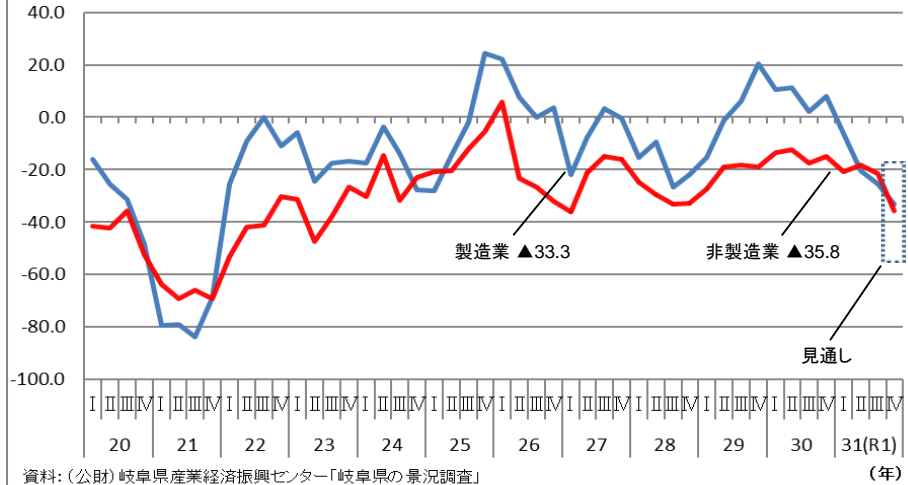
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

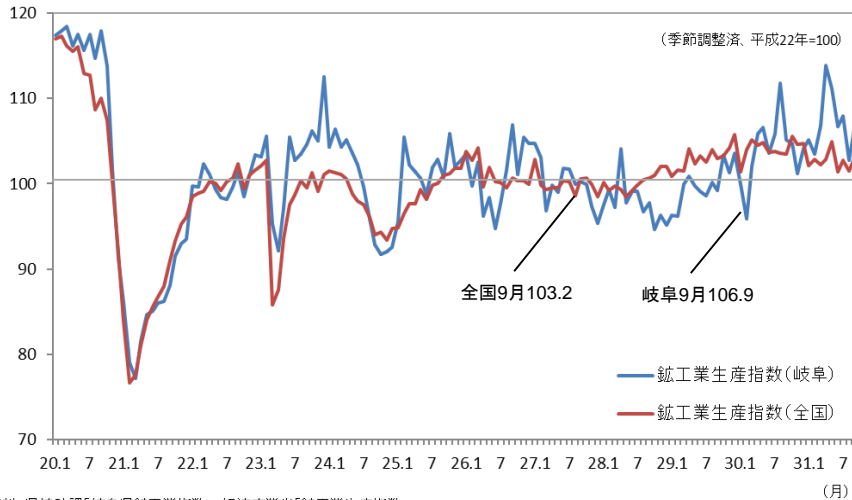


# 製造業

- 9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、106.9で前月比4.1%上昇した。
- 化学工業が大幅に上昇したほか、多くの産業で前月比上昇が目立った。

- 9月の主な産業の指数は、電気機械、輸送機械で低下したが、化学工業で前月比41.7%、金属製品で同8.1%、鉄鋼業で同5.4%上昇するなど、多くの産業で上昇した。

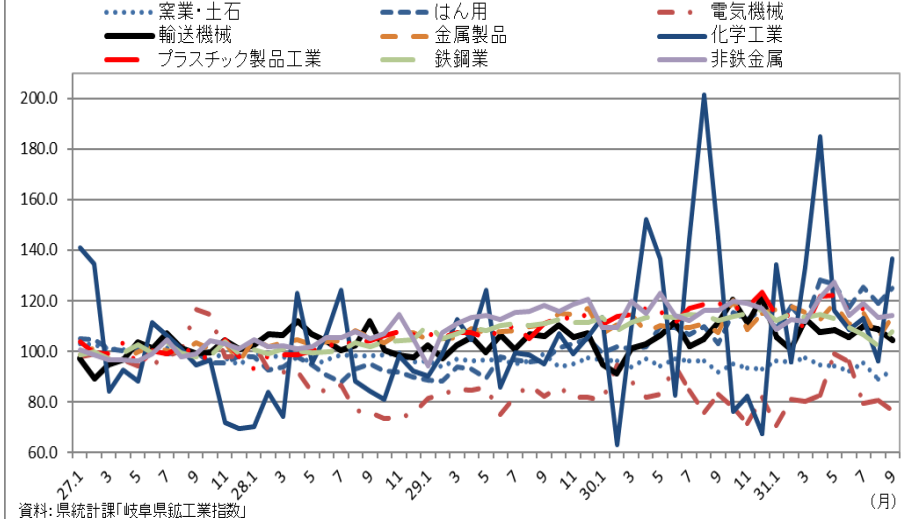
鉱工業生産指数の推移



資料:県統計課「岐阜県鉱工業生産指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)



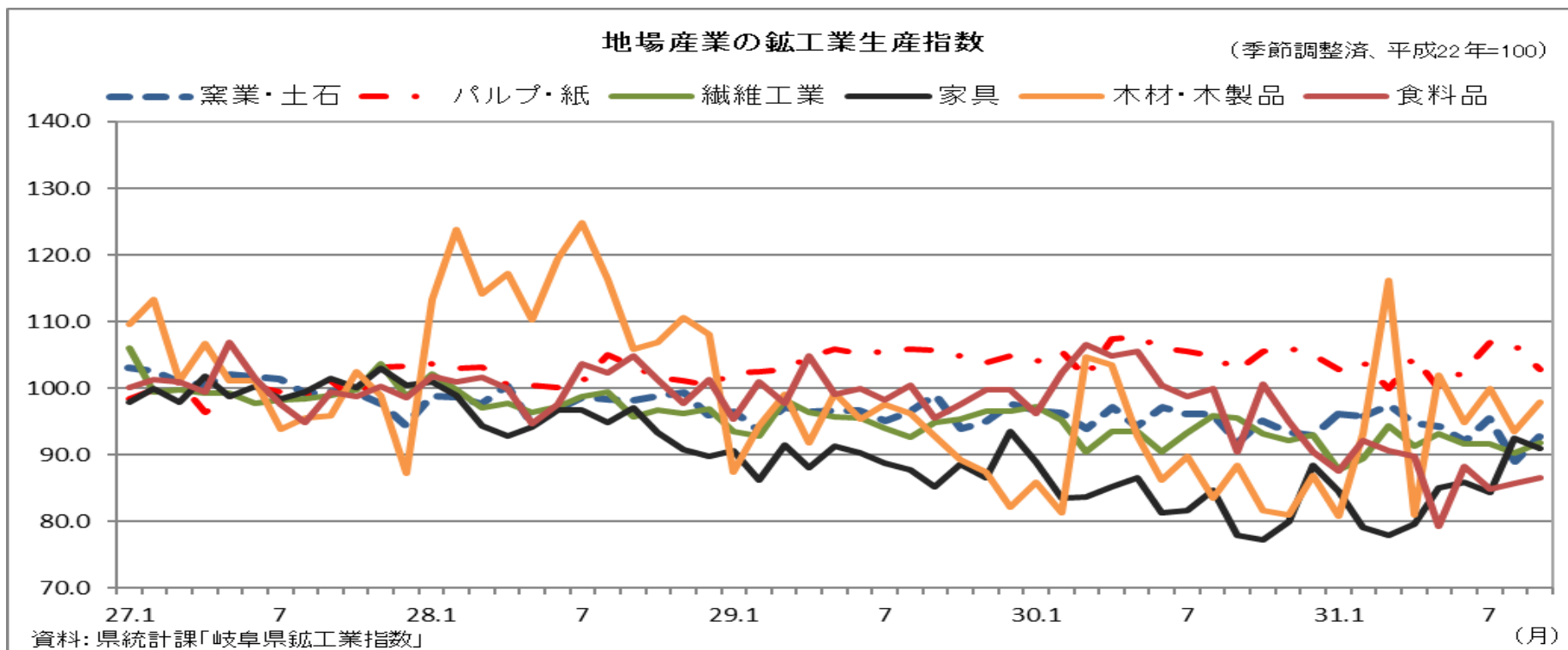
資料:県統計課「岐阜県鉱工業生産指数」

## 現場の動き

- ◆自動車部品については、当面、受注が継続的に確保されている状況となっている。(輸送用機械)
- ◆自動車部品については前年並みに推移しているが、予定していた受注が確保できないこともあった。(輸送用機械)
- ◆11月は前年同月比▲5%程度と減少傾向となっている。年明け以降も好転は見込めない。(輸送用機械)
- ◆自動車メーカーの生産調整及び部品の海外現地調達が進み、受注が減少している。(輸送用機械)
- ◆建設機械、農機具等の部品は、今後、安定した需要があると見込む。(生産用機械)
- ◆一定の受注残を抱えており、売上はある程度確保できているが、先行きは厳しくなっている。(生産用機械)
- ◆売上高は前年同月と比べ減少し、今期は約5%減少する見込み。受注が単発的に入ってくるため、月々の売上の変動幅は大きい。(はん用機械)
- ◆12月の生産計画は、前年同月比で20%程度増えている。しかし、例年1月は一旦落ち込む。(プラスチック製品)

## 製造業-2

○9月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、パルプ・紙で前月比▲3.6%、家具で同▲1.6%と低下したものの、木材・木製品で同4.7%、窯業・土石で同4.2%、繊維工業で同1.7%、食料品で同0.9%上昇した。

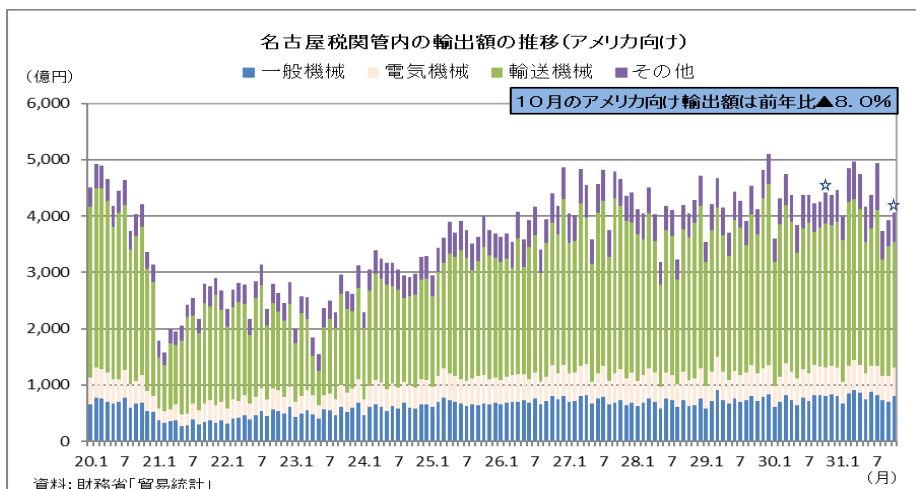
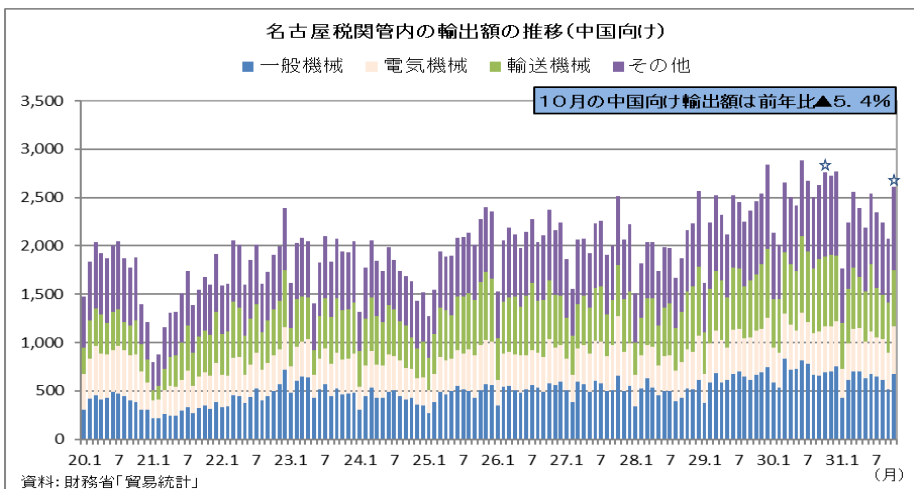
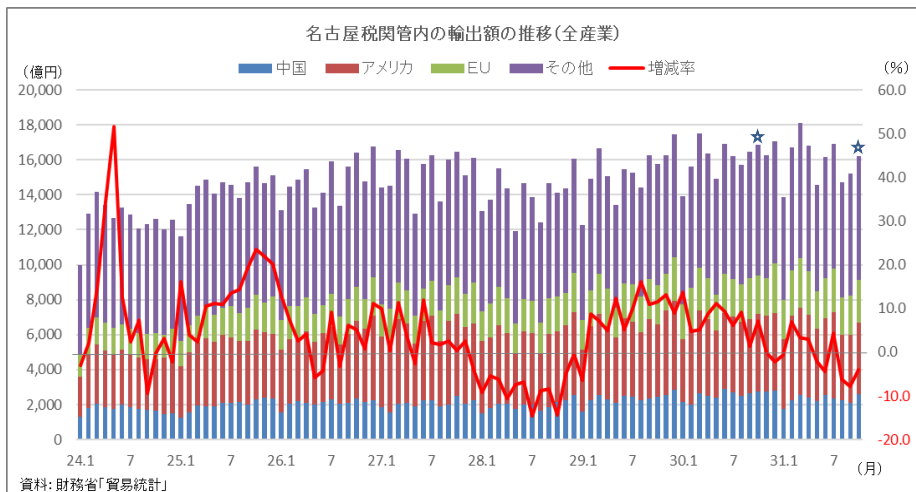
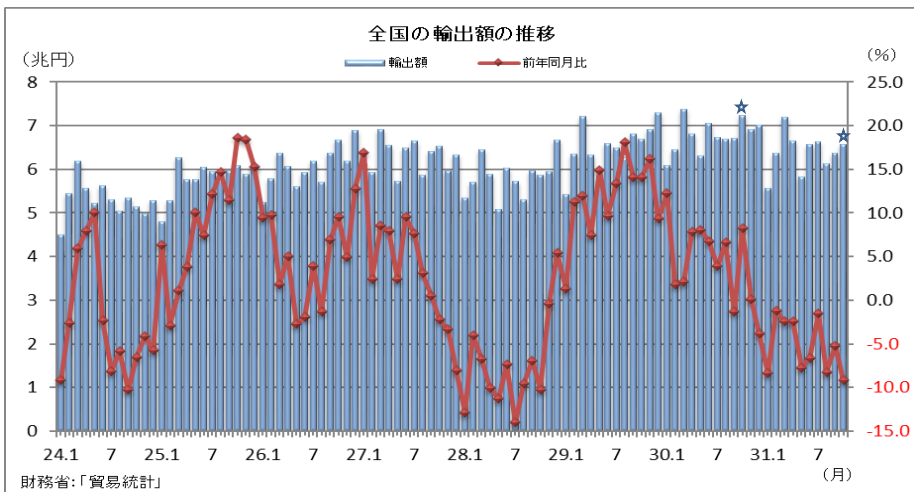


### 現場の動き

- ◆暖冬傾向が続いており、業界全体の動きは弱くなりそうだが、近年のウール原材料費の高騰が続いていたが、このところ値段が落ち着いてきたことから、毛織物類の動きは少し期待できる。(アパレル)
- ◆厳しい状況。市場には安価な製品も多く、大手小売店とは価格面で勝てない。(陶磁器)
- ◆今後も陶磁器の需要が減っていく流れは変わらないだろう。(陶磁器)
- ◆新商品は好調だが、今期全体では、売上は落ちている状況。(紙)
- ◆年度末にかけてホテル向けの注文が増える。さらに、オリンピック向けも来年度初めに増加する予想。(木工)

# 輸 出(名古屋税関管内)

- 10月の輸出額(全国)は、6兆5,771億円で前年同月比▲9.2%と11ヶ月連続で減少となった。
- 10月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆6,205億円で前年同月比▲4.0%と減少し、3ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比▲5.4%と減少し、8ヶ月連続で前年を下回った。
- その内、電気機械で前年同月比4.1%増加したが、輸送機械で同▲18.5%と大幅に減少した。
- アメリカ向けは、全体で同▲8.0%と減少し、3ヶ月連続で前年を下回った。



## 為替・原油価格等の動向による影響について

- ◆原油価格については、10月から値下げに転じたが、昨今の国際情勢から、環境は依然として不透明であり、状況を注視している。(輸送用機械)
- ◆価格変動が少ない都市ガスに移行中であり、安定供給が期待できる。(輸送用機械)
- ◆アルミ材・亜鉛・銅といった材料価格が徐々にではあるが上昇している。(輸送用機械)
- ◆市場での鋼材の値上がりによる影響が、数ヶ月遅れで出始めている。(金属製品)
- ◆原油価格の先行きを注視している。(プラスチック製品)
- ◆原材料費、工賃、人件費等の高騰により、収益が圧迫されている。(アパレル)

## 米中貿易摩擦の影響について

- ◆中国において、自動車の生産計画の見直しが実施された。(輸送用機械)
- ◆工作機械部品や自動車部品の受注量にも影響が出ている。(輸送用機械)
- ◆中国経済の減速により、売上が減少している。突発的な受注に対応するためにストックしていた在庫を少しずつ減らしている。(金属製品)

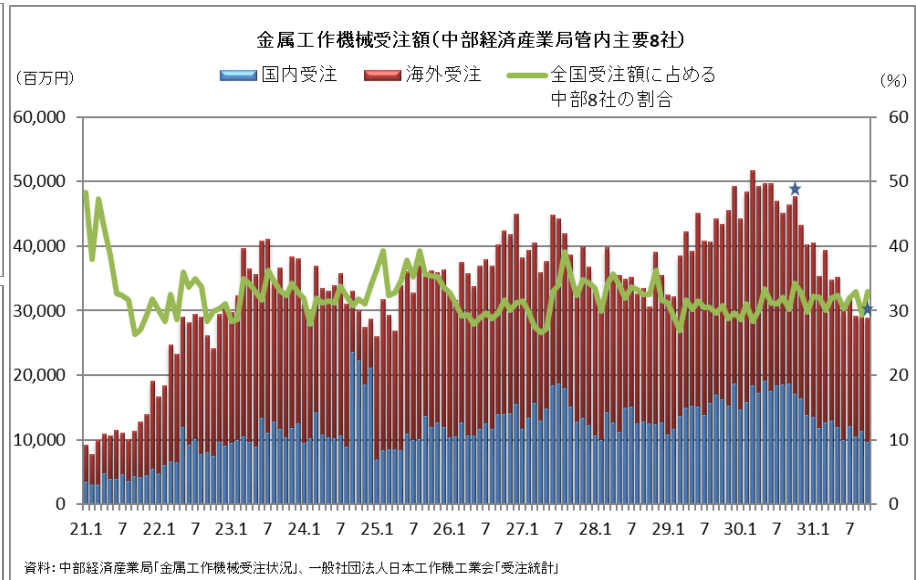
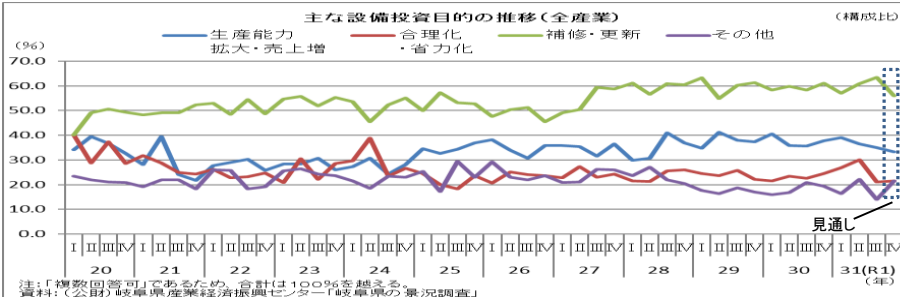
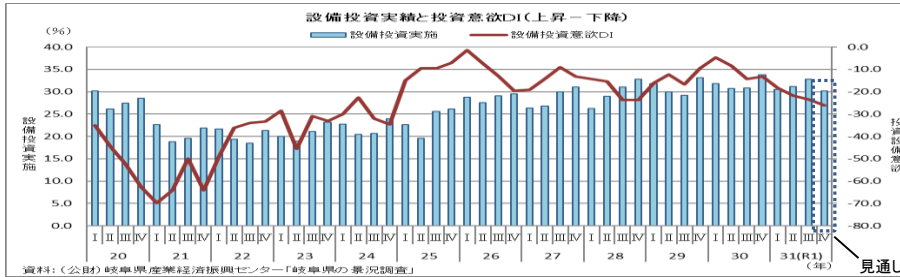
## 業界トピックス

- ◆中国で環境車規制の転換(ハイブリッド車が優遇)が示され、一時的に販売台数が落ち込んでいる。(金属製品)
- ◆工作機について、ここ最近売上が減少しており、来年春からも2~3割程度落ち込むと聞いている。(生産用機械)
- ◆工作機については、来年春ごろから2~3割の落ち込みがあると予想している。また、それに併せて大手メーカーが下請けへの発注を取り止める動きが出てきている。(生産用機械)
- ◆中国向け建設機械部品が一時的に回復しているが、春節後の動向が気になる。(生産用機械)
- ◆定年制度の見直しを行い、2020年4月より定年延長制度を導入することを決めた。(生産用機械)
- ◆プラスチックごみ問題に対して各社が対応を協議している。(プラスチック製品)
- ◆最近では外国人派遣の定着が芳しくなく、毎月1~2名ずつの入替えが続いている。(食品製造)
- ◆朝ドラの影響で、他産地では売上が伸びていると聞けが、県内では今のところ影響は無い。(陶磁器)

# 設備投資

○10-12月期の設備投資実施実績見通しは前期比▲2.6ポイントと低下、設備投資意欲DI見通しは同▲2.7ポイントと低下。目的別では、「生産能力拡大・売上増」が前期比▲1.6ポイント、「補修・更新」が同▲7.5ポイントと低下、「合理化・省力化」は同0.5ポイント上昇した。

○10月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲39.6%と12ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では多くの工業向けが不調で、同▲43.2%と11ヶ月連続で前年を下回り、海外向けも同▲37.6%と12ヶ月連続で前年を下回った。



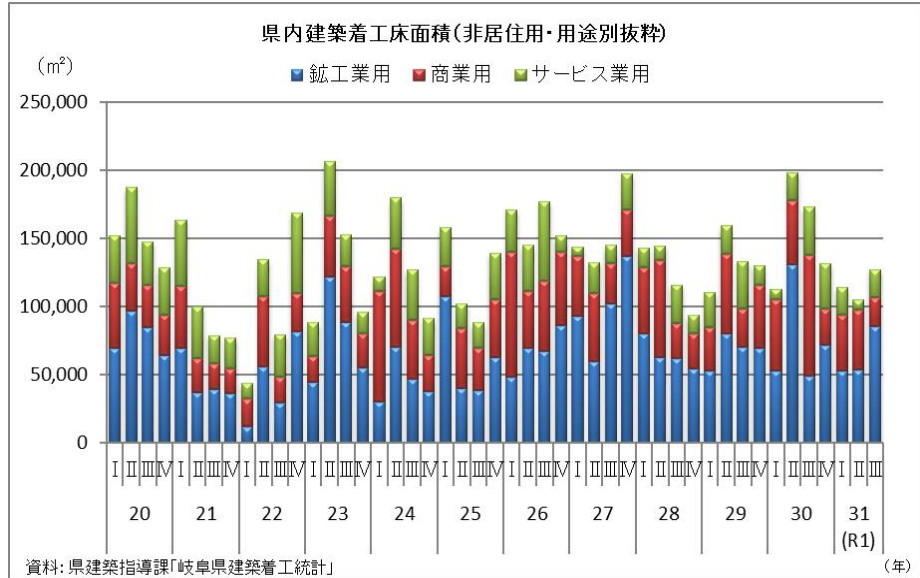
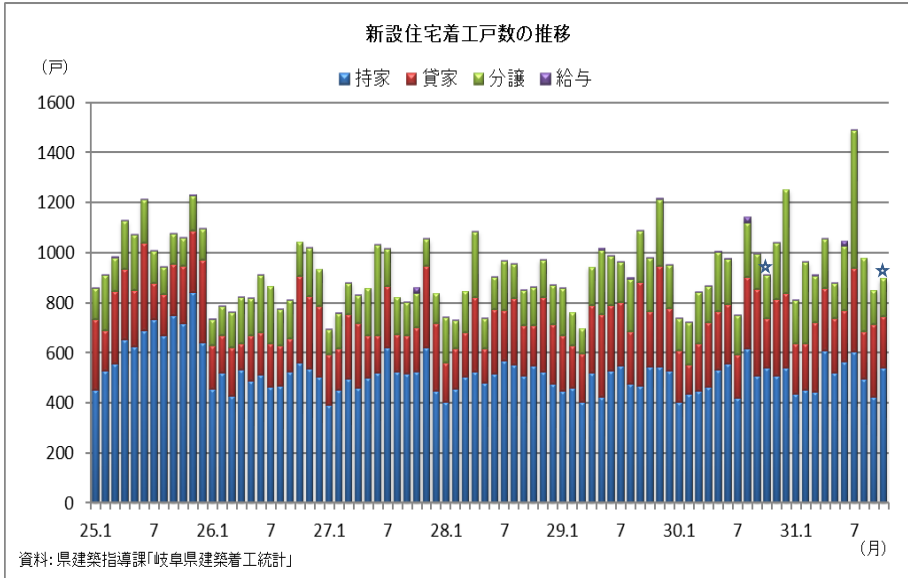
## 現場の動き

- ◆来年の設備投資は、これまでと比べかなり抑制していく方針。(輸送用機械)
- ◆航空機関連部品の新規受注により、新規設備投資を実施した。(輸送用機械)
- ◆老朽化のため、数億円程度の設備更新をした。今月も投資を行い、将来の人手不足に備える。(生産用機械)
- ◆来年には新工場が完成し、当面の生産体制が確保されたと考えている。(生産用機械)
- ◆後継者がいる企業とない企業で設備投資の意欲に大きな違いがある。(アパレル)
- ◆更新が中心。先行き不透明な状況が続いていることもあって、前向きな投資の話は聞かない。(金融)
- ◆製造業等では、作業の機械化を進めることなどにより効率化を図っている。(金融)

# 住宅・建築投資

- 10月の住宅着工戸数は、前年同月比▲1.5%と3ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 貸家で前年同月比5.6%増加したものの、持家は同水準、分譲は同▲13.6%と大幅に減少した。

- 7-9月期の建築着工床面積は、鉱工業用で前年同期比75.5%増加したものの、商業用で同▲76.2%、サービス業用で同▲41.8%と減少したことから、全体としては同▲26.4%と2期連続で減少となった。



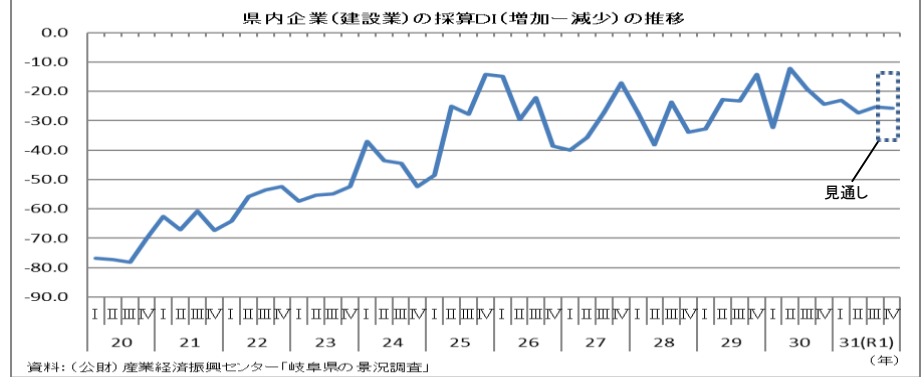
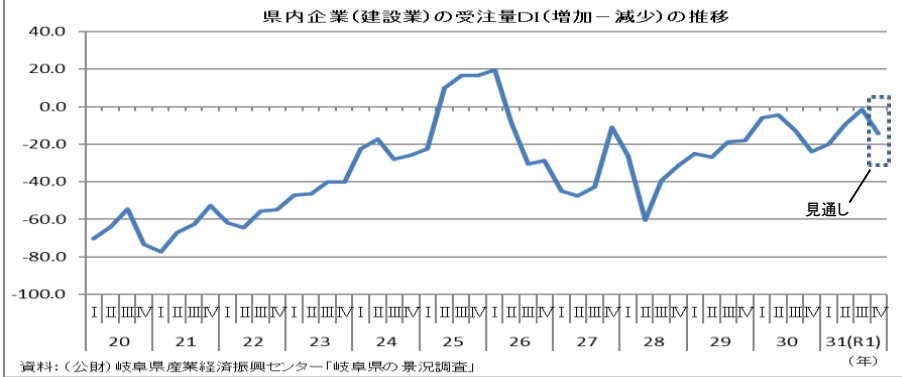
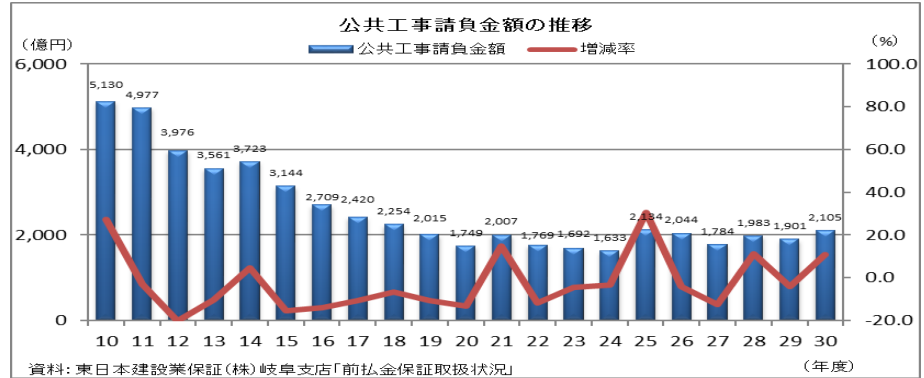
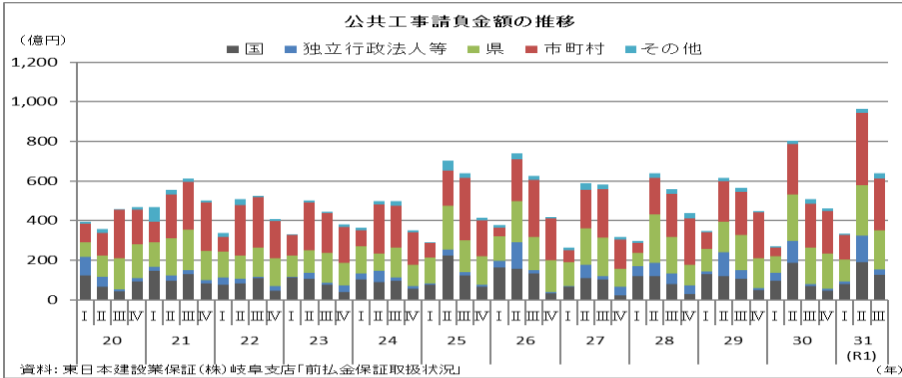
## 現場の動き

- ◆11月は荷の動きが悪く、12月、1月についても心配している。(木材加工)
- ◆消費増税について、今まで影響はなかったが、多少停滞を感じるようになってきた。(木材加工)
- ◆台風による水害で、来週頃から木材の需要が増えてくることを想定している。(木材加工)
- ◆展示場の来場者について、昨年同時期と比べると大幅に減少している。(住宅建設)
- ◆11月の契約状況は4件となり、前年同月と比べると1件増加した。(住宅建設)
- ◆入荷量は増加しているが、売り先の需要が少ないため、出荷量は例年と比べ少ない傾向が続く。(木材市場)
- ◆これからの季節は、積雪などで原木が不足し、価格が値上がりすることが予想される。(森林組合)



# 公共工事

- 7-9月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比191.9%、国で同80.6%、市町村で同17.8%、その他で同14.1%、県で同7.8%増加し、全体で同25.7%増加した。
- 県内建設業の10-12月期の受注量DI見通しは前期比▲12.6ポイント、同採算DI見通しは同▲0.4ポイントと悪化した。



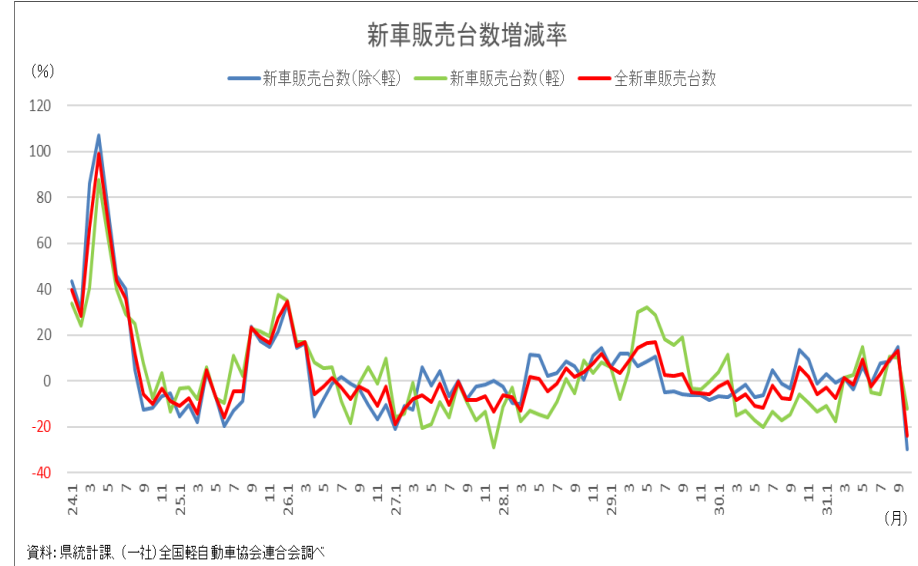
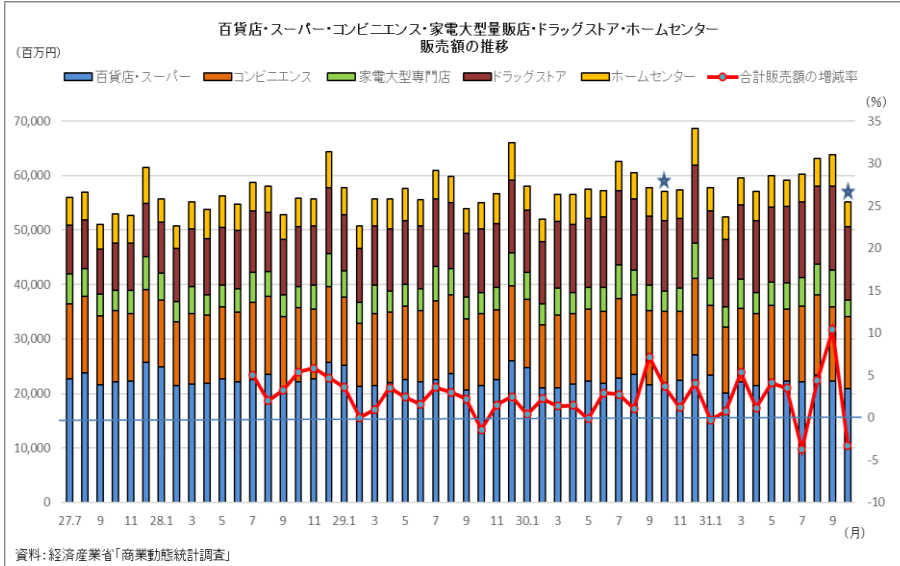
## 現場の動き

- ◆公共工事については、前年と比べると微増してるように感じるが、補正予算を念頭に、今後の仕事を検討していく。
- ◆年間を通じハローワークに募集をかけているが、反応は大変薄く、声がかかることはほぼ無い。
- ◆交通誘導警備員不足が続いている。他地区へ依頼することにより、余分なコストがかかっている。
- ◆建設業界においては、残業をしなくて済む業務への見直し、体制作り、人材確保等すべきことが待ったなしに迫っている。(以上、建設業者)

# 個人消費(流通・小売)

○10月はコンビニで前年同月比2.0%、ドラッグストアで同3.5%増加したが、百貨店・スーパーで同▲5.5%、家電大型専門店で同▲18.0%、ホームセンターで同▲13.3%と減少し、全体で同▲3.3%と3ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

○10月の新車販売(除く軽)は、前年同月比▲29.9%と4ヶ月ぶりに減少し、軽自動車は、同▲12.2%と3ヶ月ぶりに減少した。  
○合算では同▲23.7%と、4ヶ月ぶりに前年同月を上回った。



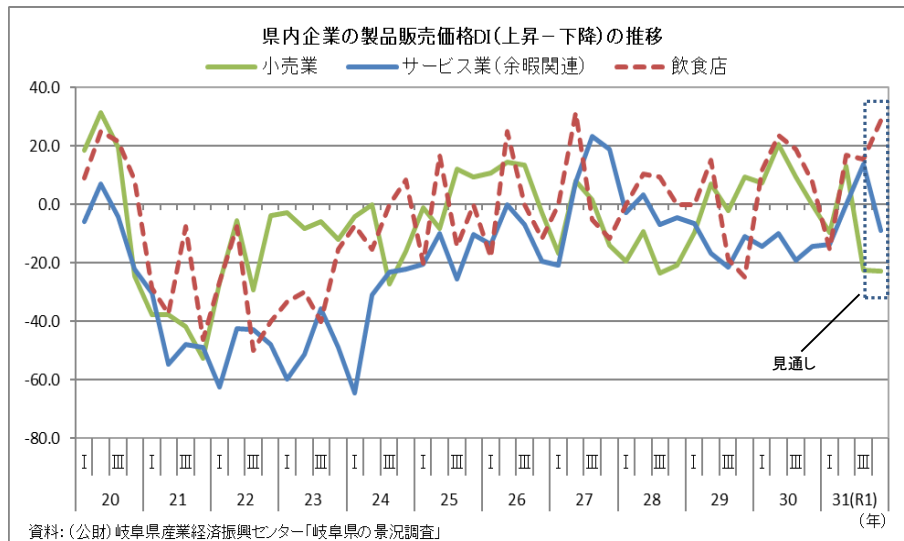
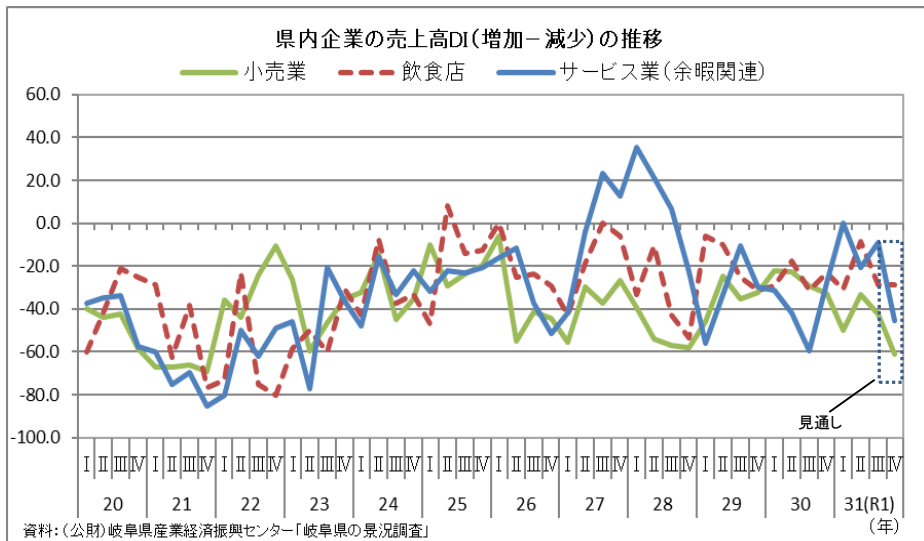
## 現場の動き

- ◆売上は前年同月比105%、来客は同105%。消費増税からの回復は想定より早い。
- ◆年末に向けた、ケーキやおせちの売上は前年並みで推移すると予想している。(以上、岐阜市内大型商業施設)
- ◆売上は前年同月比98.7%、来客は同98.1%。化粧品や高額消耗品に対し消費増税の影響が大きい。
- ◆在庫削減による作業の軽減を図り、人手不足に対応している。(以上、各務原市内大型商業施設)
- ◆衣料品と住居関連品において、消費増税後の冷え込みが大きく影響した。(大垣市内大型商業施設)
- ◆近隣の商業施設の閉店で来客の増加を期待。消費増税の影響は、現在は見られない。(岐阜市内スーパー)
- ◆消費増税による反動は想定よりは小さいが、駆け込み需要も想定より小さかった。(岐阜市内スポーツ用品店)
- ◆価格の大きいものに関しては、いまだに消費増税後の冷え込みを実感している。(岐阜市内家電販売店)

## 個人消費(流通・小売)－2

○10－12月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比同水準となったものの、小売業で同▲18.3ポイント、サービス(余暇関連)では同▲36.4ポイントと悪化した。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店で13.2ポイントと改善したものの、小売業で同▲0.3ポイント、サービス業(余暇関連)で同▲22.8ポイントと悪化した。



### 現場の動き

- ◆和菓子店の売上は前年同月比101%、飲食店で同100%、ブティックで同94%。現状の営業スタイルでは集客は頭打ちに達した感じがある。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆日用品・雑貨店の売上は前年同月比85%。消費増税後は買い控えがあり、売上が減少している状態。
- ◆和菓子店の売上は同107%。少し値上げを実施したことが、売上増加の要因と思われる。(以上、大垣市商店街)
- ◆酒類販売店の売上は前年同月比100%。消費増税に関しては、駆け込み需要も反動減もなかった。
- ◆時計・宝石店の売上は同98%。消費税が上がったが、そもそもの消費意欲が乏しく、買い控えは感じられない。駆け込み需要も反動減も感じられなかった。(以上、多治見市商店街)
- ◆家電販売店の売上は前年同月比108%。消費増税後は財布のひもがますます固くなった。
- ◆国のキャッシュレス事業に登録しているが、特に何の変化も感じられない。(以上、高山市商店街)

# 観光

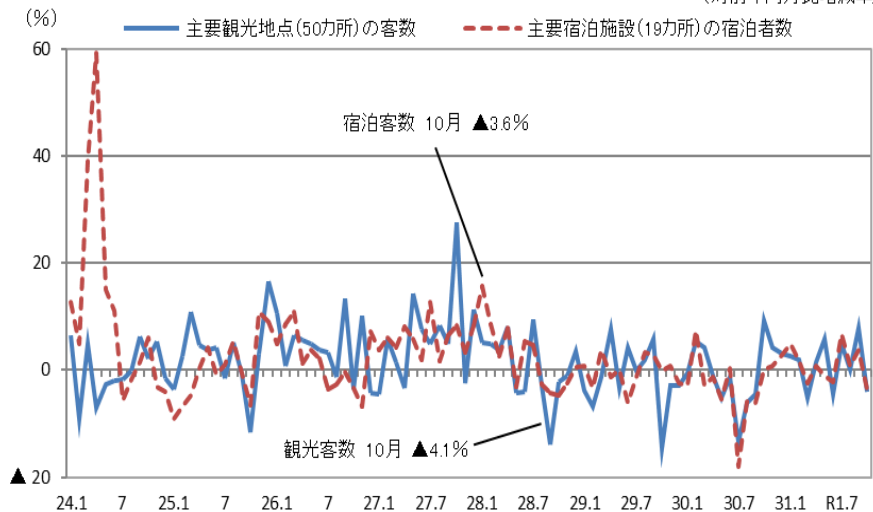
○主要観光地の10月の観光客数は、前年同月比▲4.1%と減少し、4ヶ月ぶりに前年同月を下回った。主要宿泊施設の宿泊者数は、前年同月比▲3.6%と減少し、4ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

○10月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲1.9%と減少し、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

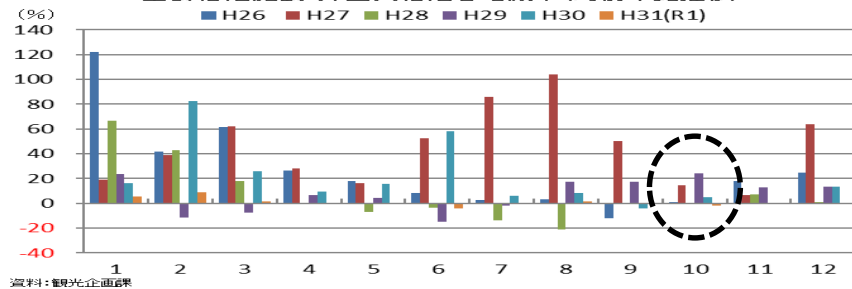
○4～6月期の主要観光地の観光宿泊者数は、前年同期比で高山と下呂が増加した。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

(対前年同月比増減率)

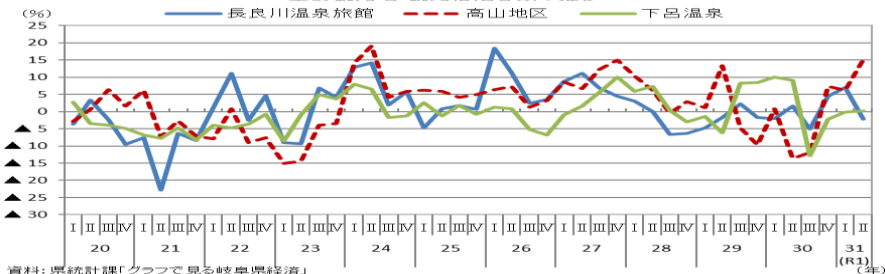


主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

(前年同期比増減率)

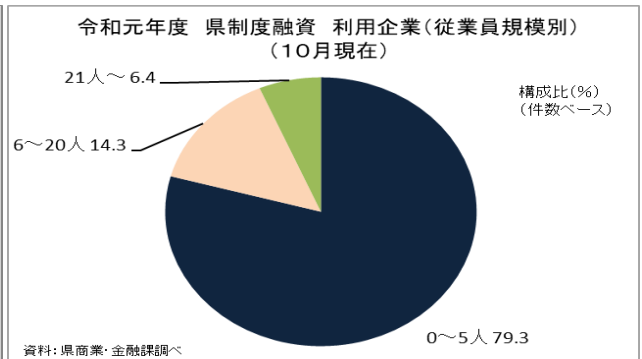
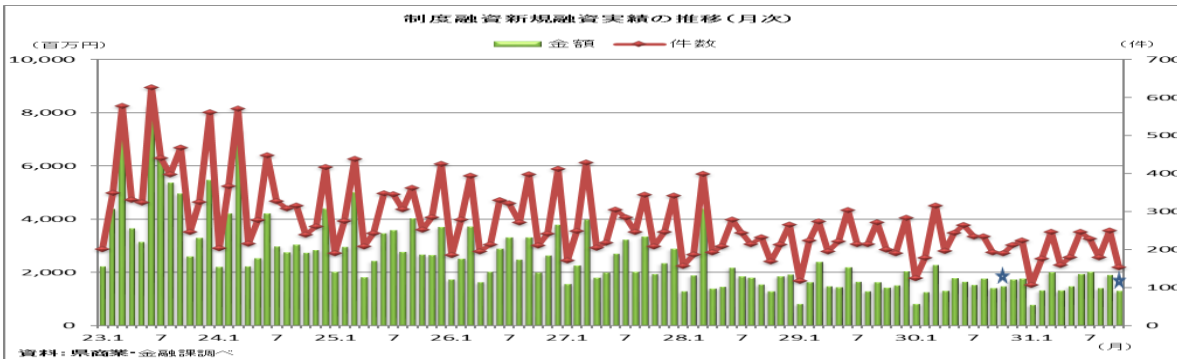
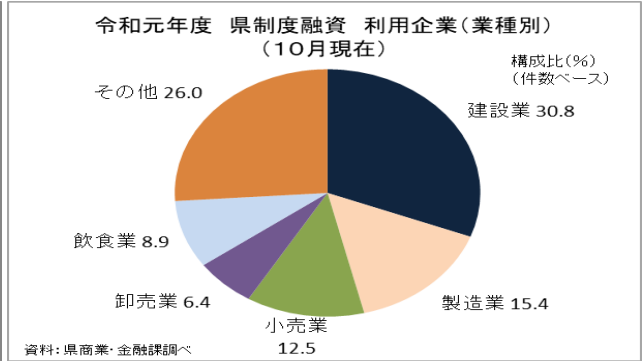
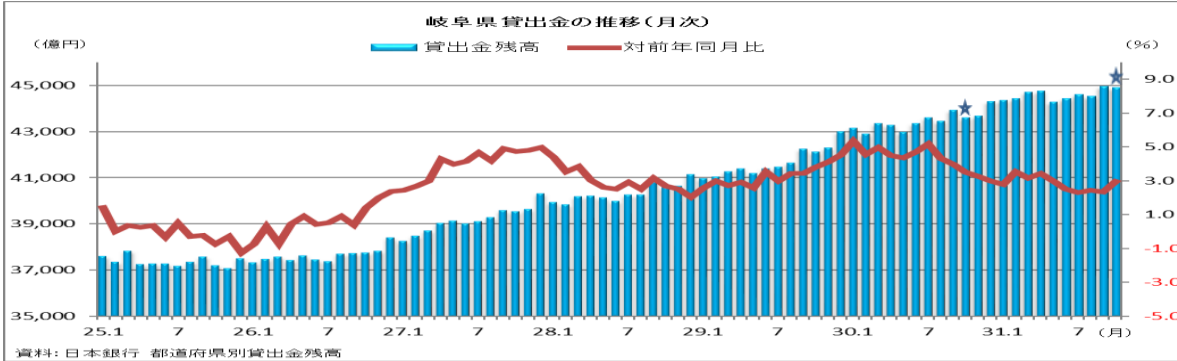


## 現場の動き

- ◆台風19号によるキャンセルが多い。(岐阜市内、美濃加茂市内、多治見市内、恵那市内、高山市内の宿泊施設)
- ◆消費増税による影響は見られない。(岐阜市内、多治見市内、下呂市内、飛騨市内の宿泊施設)
- ◆中国からのお客様が減少している。(岐阜市内、大垣市内の宿泊施設)
- ◆韓国からのお客様が減少している。(岐阜市内、飛騨市内、下呂市内の宿泊施設)
- ◆ラグビーワールドカップによる影響は見られない。(岐阜市内、多治見市内、下呂市内の宿泊施設)
- ◆外国人の採用については、しばらく様子を見たい。(岐阜市内、下呂市内の宿泊施設)

# 資金繰り

- 10月の岐阜県貸出金残高は、4兆4,892円で前年同月比3.0%とプラス基調が続く。
- 10月の制度融資実績は、金額が1,311百万円で前年同月比▲11.5%と2ヶ月ぶりに減少した。件数は153件で同▲19.9%と2ヶ月ぶりに減少した。
- 従業員規模別では、5人以下の事業所が全体の79.3%を占めている。

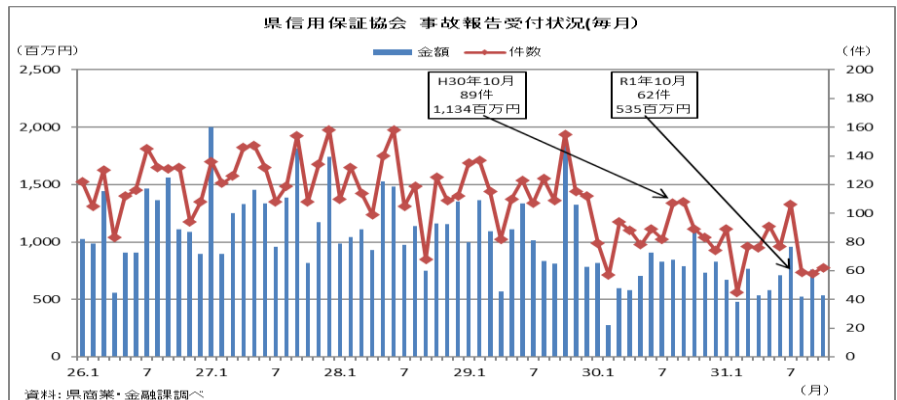
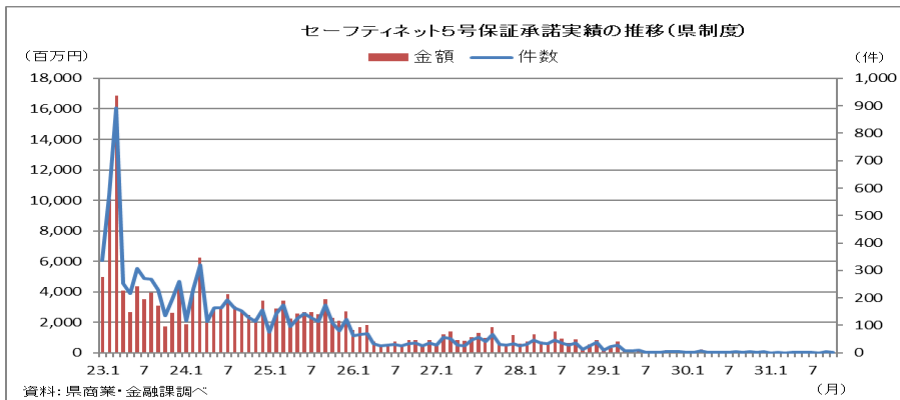
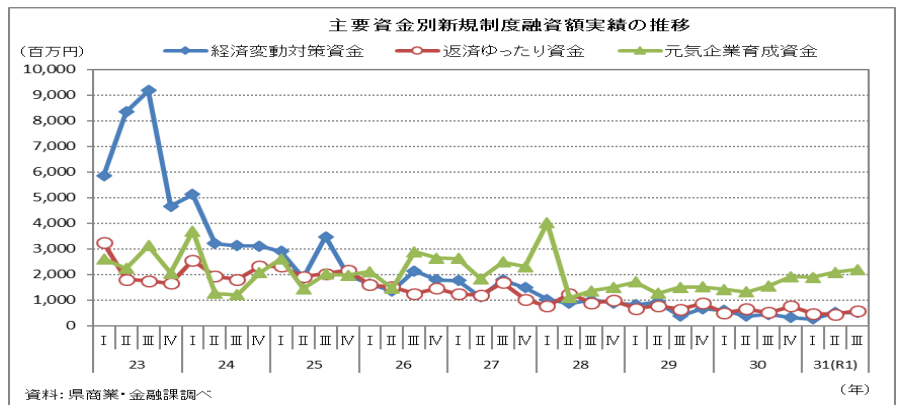
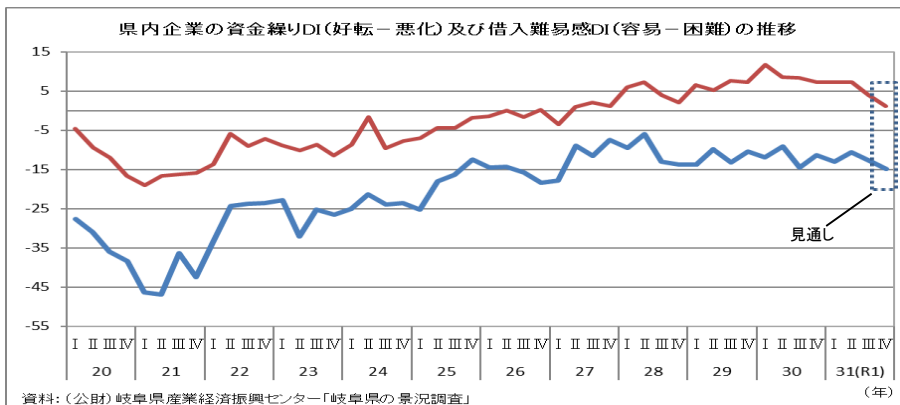


## 現場の動き

- ◆大きな変化はなく推移している。事業者向けの融資が少し増えてきている。
- ◆今月については、製造業、医療福祉関連産業への融資が伸びた。
- ◆小売業で消費増税の影響が出ているとの報道もあるが、現時点では影響は感じていない。
- ◆キャッシュレス事業により消費増税の影響は今のところ見られない。年明け頃から影響が出てくのではないかと。
- ◆米中貿易摩擦や日韓関係、消費増税については、現時点で影響が生じている様子は感じられない。
- ◆為替に関する影響は落ち着いたように見受けられる。原油価格についても混乱は生じていない。(以上、金融)

# 資金繰り-2

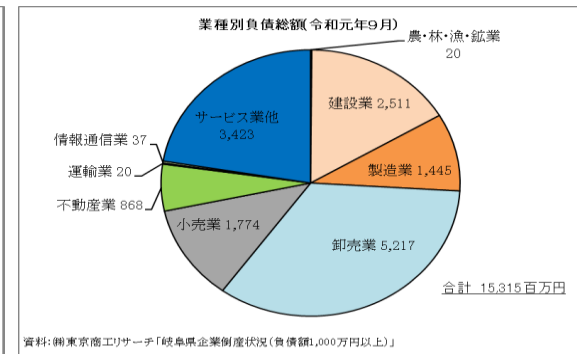
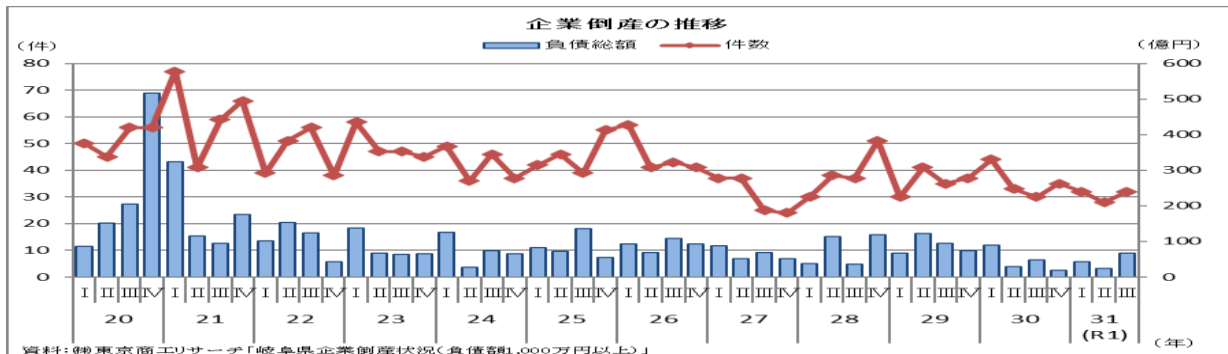
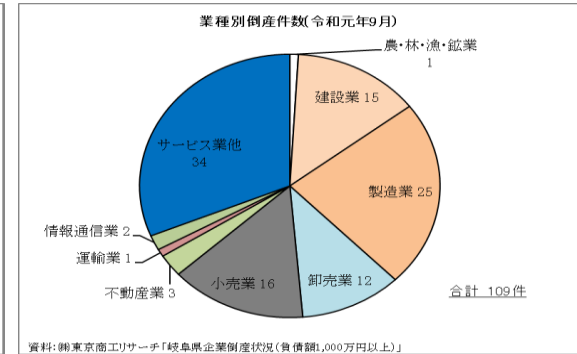
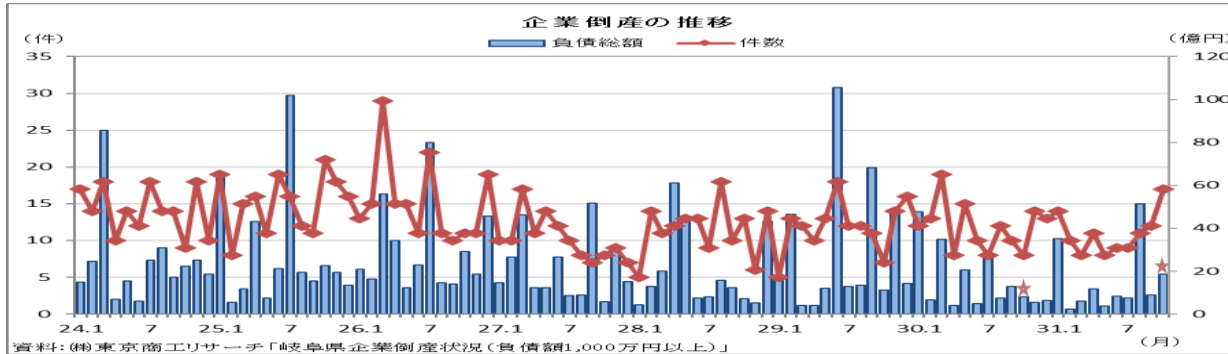
- 10-12月期の資金繰りDI見通しは▲14.9で、前期比▲2.2ポイントと悪化。同借入難易感DI見通しは1.1で、同▲2.8ポイントと悪化。
- 7-9月期の主要資金別新規制度融資実績は、返済ゆったり資金で前年同期比13.7%と13ヶ月ぶりに増加に転じたほか、経済変動対策資金で同13.5%と2ヶ月連続で増加、元気企業育成資金も同41.3%と6ヶ月連続で増加となった。
- 10月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が1件で前年同月比3件減少、金額は6百万円で同▲89.5%と2ヶ月ぶりに減少し、全体の利用としては、非常に低調に推移。
- 10月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は62件で前年同月比▲30.3%と3ヶ月連続で減少。金額は535百万円で同▲52.8%と3ヶ月連続で減少。



# 倒産

○10月の倒産件数は前月比5件増加の17件、負債総額は前月比966百万円増加の1,850百万円となった。

○1月～10月までの累計倒産件数は109件となり、前年同期の115件から6件減少。累計負債総額は15,315百万円となり、前年同期の17,501百万円から2,186百万円減少で推移した。



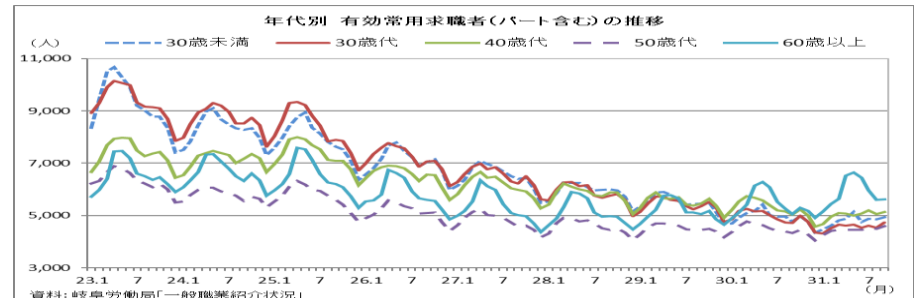
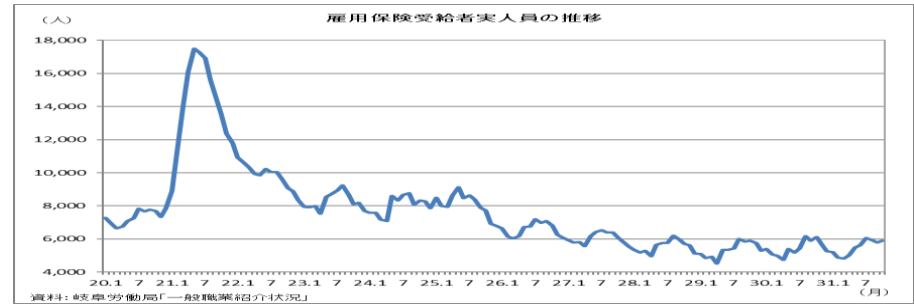
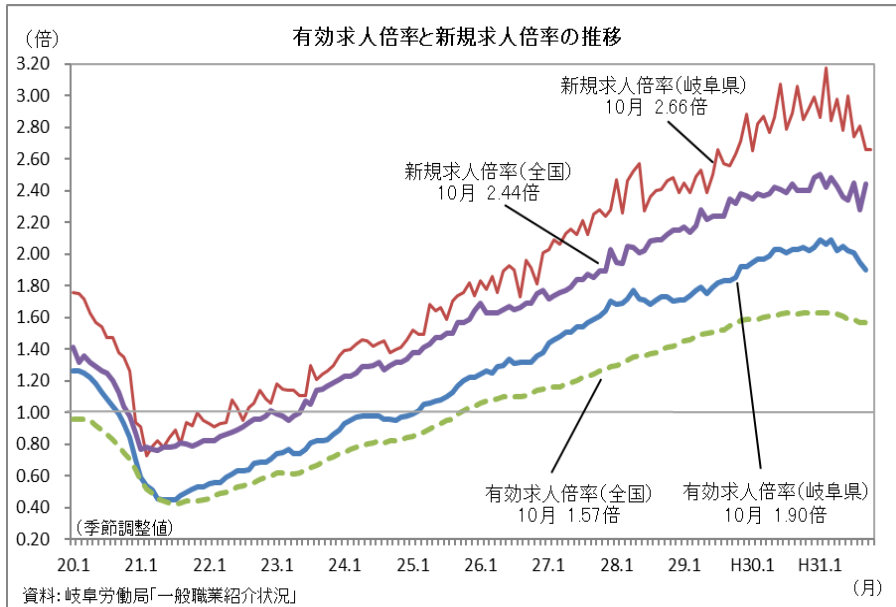
## 専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆消費税率の引き上げによる個人消費の落ち込みに加え、大雨による被害で企業活動の停滞を招いた。一方で、米中貿易摩擦緩和への期待等から株価は上昇し、また、ラグビーワールドカップの盛り上がり好材料となった面も見られた。
- ◆今後はオリンピックに向けた工事需要や開催期間中の消費拡大の期待が高まるが、消費増税からしばらくは、一定の消費停滞は避けられないものとする。貿易摩擦や世界経済の減速といった懸念材料も多く、先行きの不透明感は強まっており、現に倒産件数が増勢の兆しを見せているため、楽観は禁物といえる。

# 雇用

○10月の有効求人倍率は1.90倍と前月比▲0.05ポイントと低下。全国で6番目の水準。  
○10月の新規求人倍率は2.66倍と前月同水準で推移した。

○10月の雇用保険受給者人員は、前年同月比▲3.3%と減少。3ヶ月連続で前年を下回った。  
○年代別有効常用求職者は、30代未満と50歳以上で前年同月比増加した。



## 現場の動き

- ◆金融機関の中小企業支援事業の一つである人材紹介を活用し、求職者の面談を行った。(輸送用機械)
- ◆今月も派遣社員の期間満了で人員の調整を行った。(輸送用機械)
- ◆現時点で技能実習生は30名採用している。その内数名は期間満了後、自社のベトナム工場へ幹部として送り込む予定となっている。(金属製品)
- ◆受注の減少により、人手の余剰感が顕在化しつつある。(生産用機械)
- ◆製造額は減少しているものの、職人の高齢化等による慢性的な人手不足感はある。(アパレル)
- ◆人手確保においては、同業種はもちろん、同エリア内の他業種とも競合している状況。(陶磁器)
- ◆運送業、飲食業で人手不足が顕著。人手不足によって仕事の依頼を断ることもあると聞く。(金融)



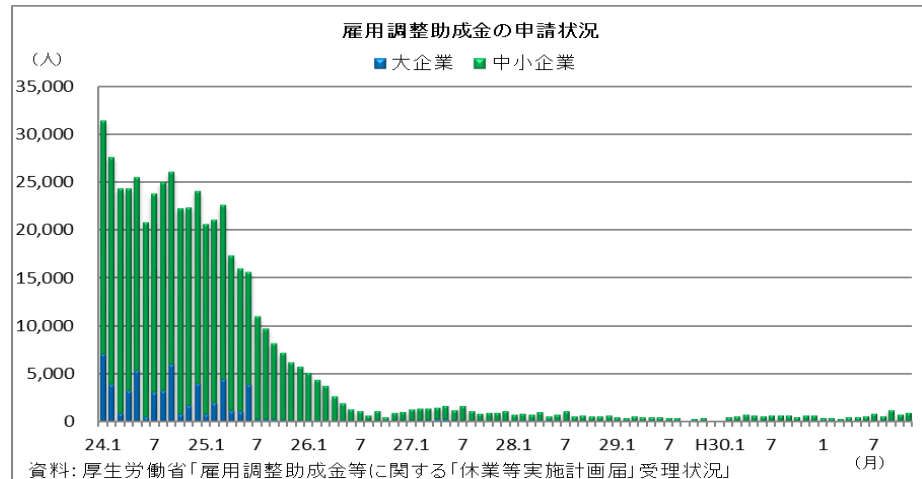
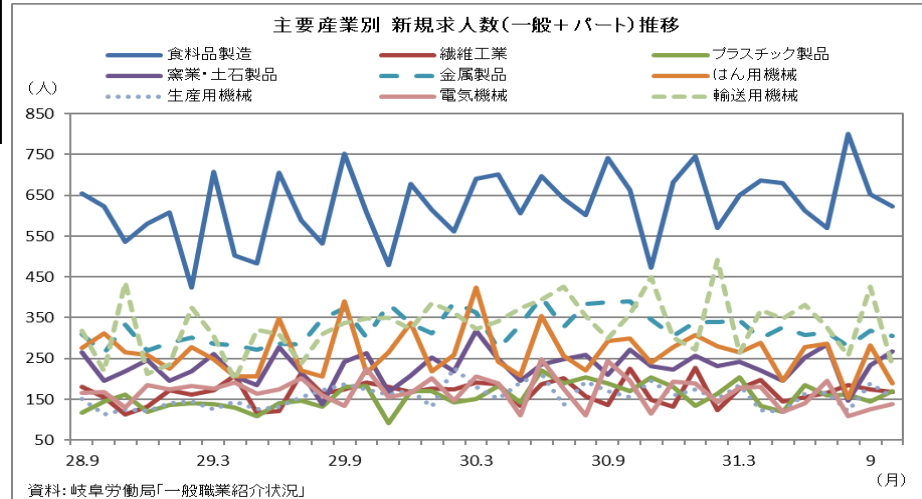
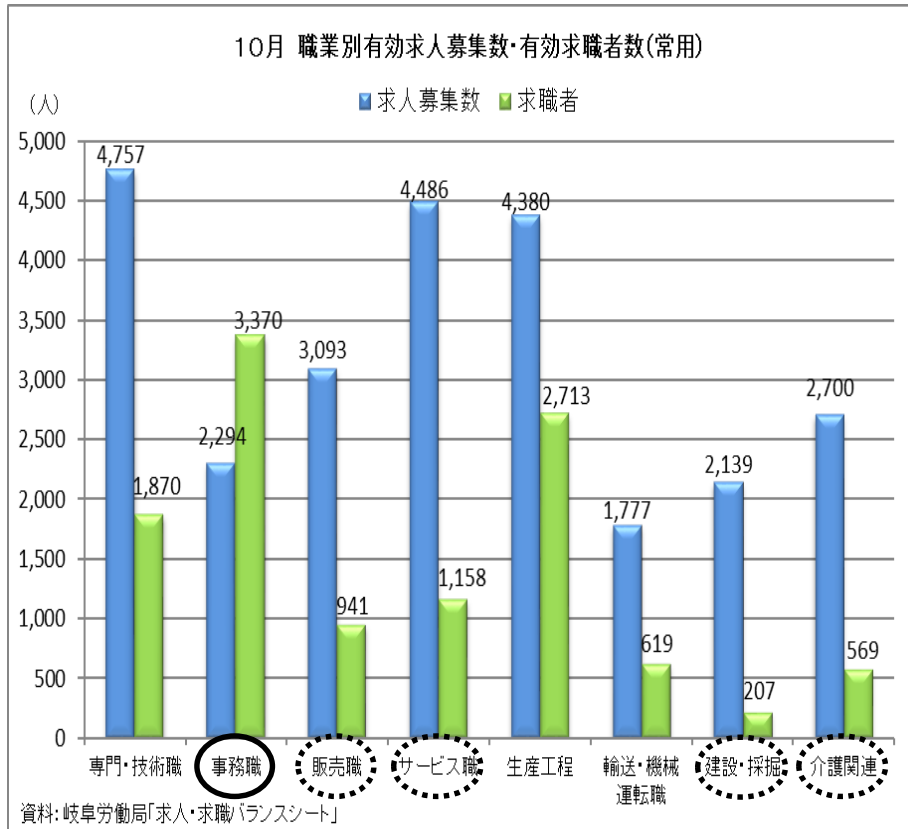
# 雇 用(職業別)

○多くの分野において人手不足の状態。建設・採掘は求人倍率10.3倍、介護関連は求人倍率4.7倍となる等、特に顕著。

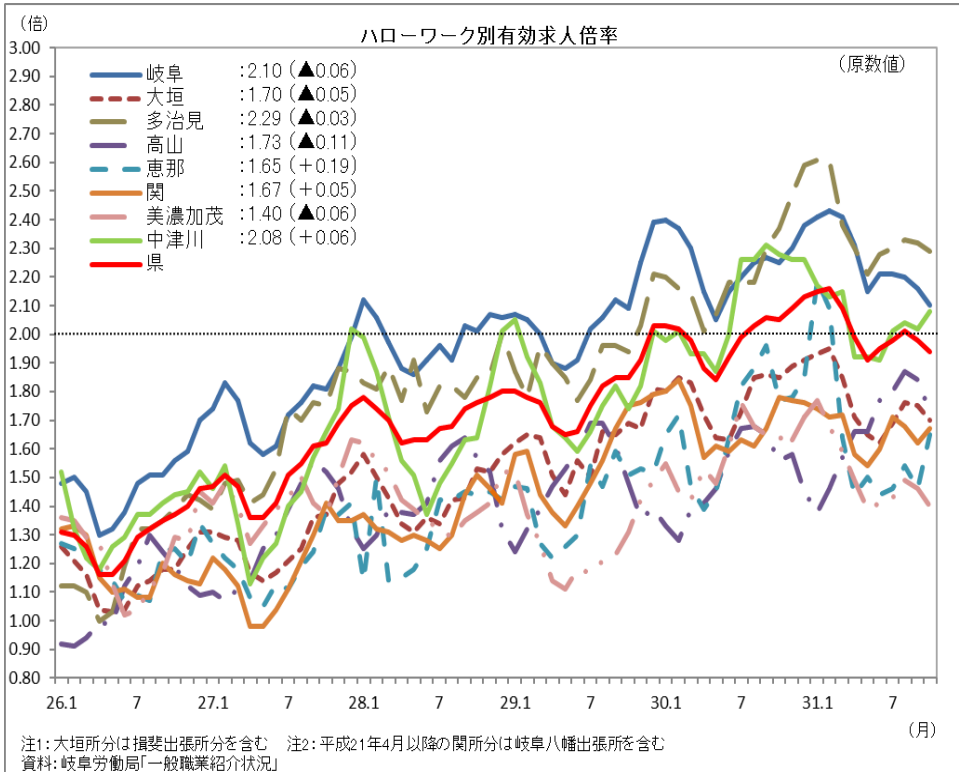
○また、販売職3.3倍、サービス職3.9倍などサービス産業においても人手不足は深刻。

○一方で、事務職の求人倍率は0.7倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○10月の主要産業新規求人数はプラスチック製品で前年同月比16.6%、窯業・土石で同15.0%、電気機械で同10.3%増加した一方、輸送用機械で同▲45.7%、はん用機械で同▲33.3%等と減少も目立った。



# 雇用(地域別)



○10月のハローワーク別有効求人倍率は、岐阜、多治見、中津川が2倍超にて推移しているものの、恵那、関、中津川以外は前月比で減少した。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数、求職者ともに横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数ともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

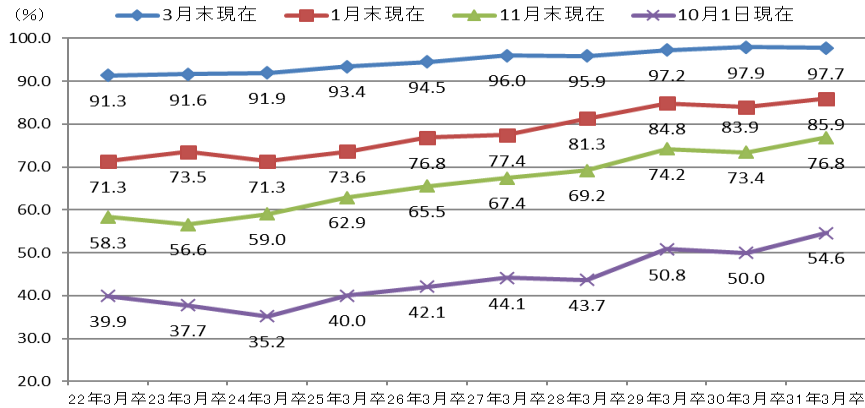
### <窓口の様子> ※前月比

- ◆すべての地域で、空いているもしくは横ばい。

# 雇 用(大学・短大新卒者の就職)

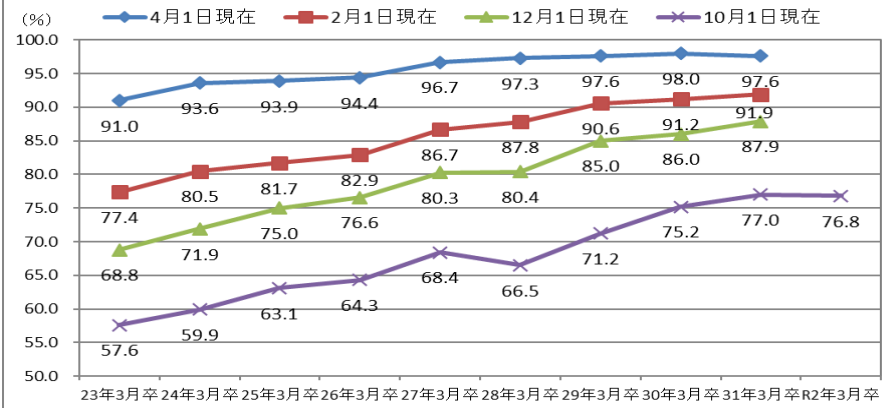
- 岐阜県の平成31年3月末時点の大学・短大卒業者(平成31年3月卒業)の就職内定率は、97.7%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントと低下した。
- 全国の令和元年10月1日現在の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)内定率は76.8%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントと低下した。

新規卒業者(大学・短大等)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大等)の就職状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

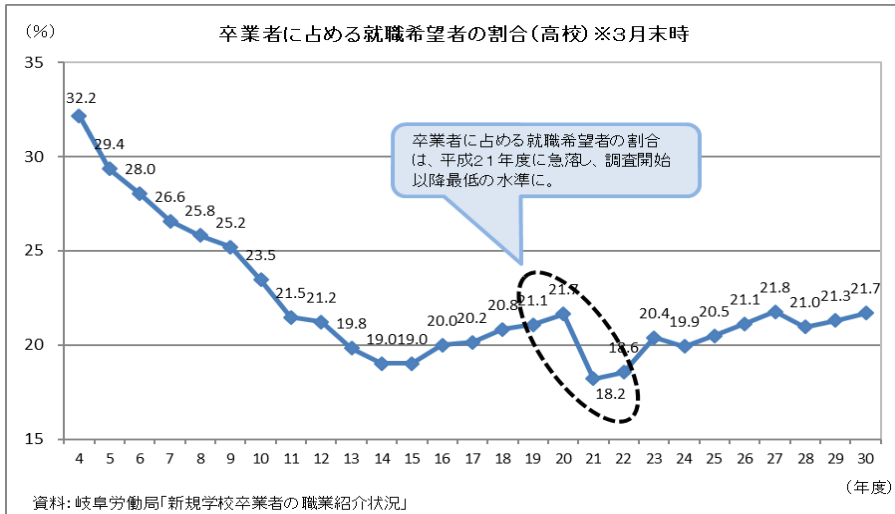
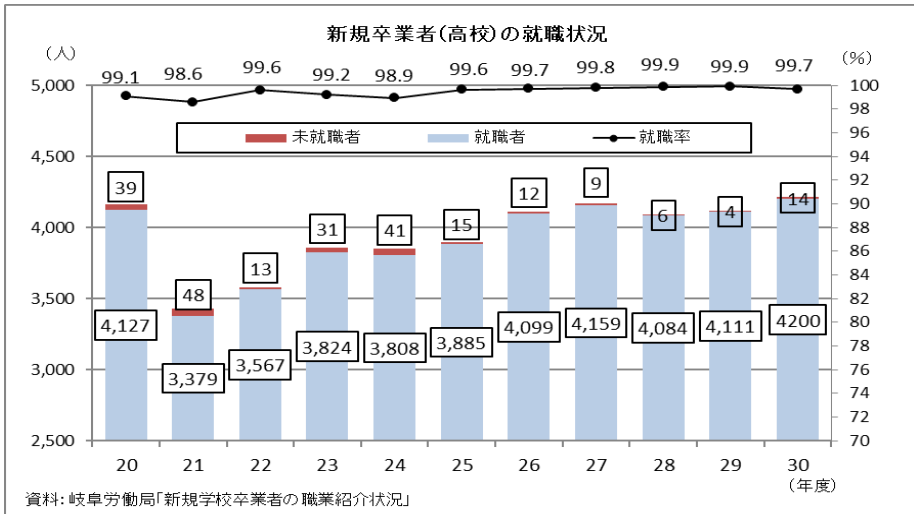
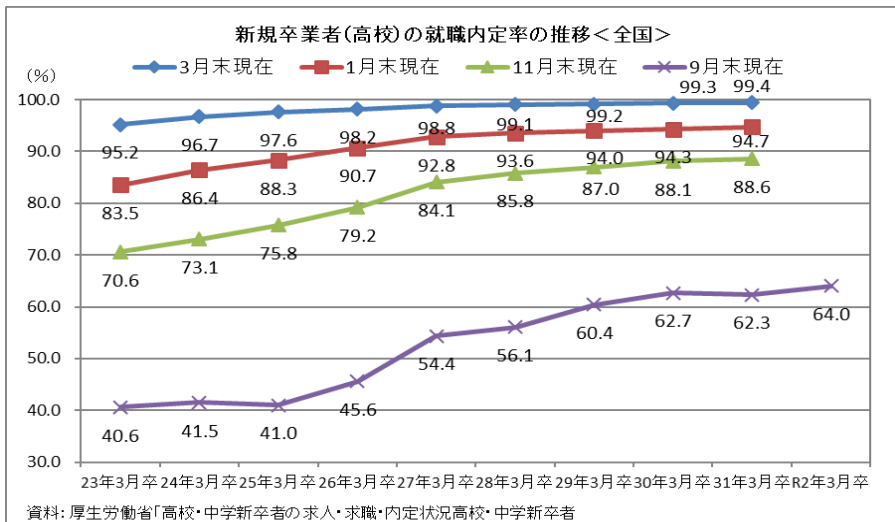
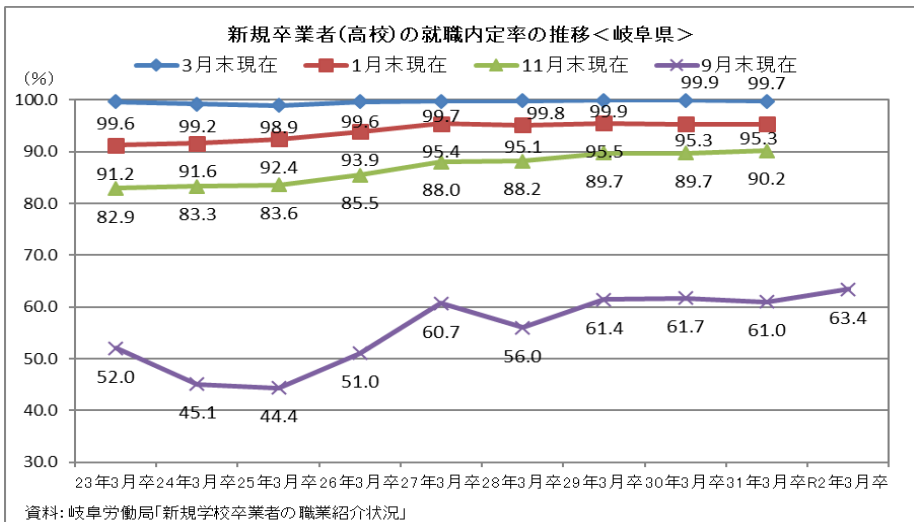
## 現場の動き(2020卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

- ◆20卒については、キャリアセンターに来る学生はもういない状態。
- ◆20卒の内定率は85%。3月までは支援を続けていく。
- ◆21卒向けに10月末から行ってきた業界研究への参加は、昨年より減っている。
- ◆21卒の個別面談が終わった。12月の就活イベントへの申込は、昨年度より多い。(以上、岐阜県内大学)
- ◆20卒の学生はほとんど動いていない。
- ◆20卒の内定率は全体で94%程度。まだ活動している学生もいるため、引き続き支援していく。
- ◆21卒については、冬のインターンシップに向けて対策や相談に来る学生が増えてきている。
- ◆21卒に対し、対策講座やUターンガイダンス等を行っているが、集まりは昨年度より悪い。
- ◆21卒に対し、学科毎にガイダンスを進めており、参加率を上げるため、昨年とはやり方を変えて臨んでいる。
- ◆22卒に対しては、キャリア形成支援を開始したが、昨年より出席率が良い。(以上、愛知県内大学)

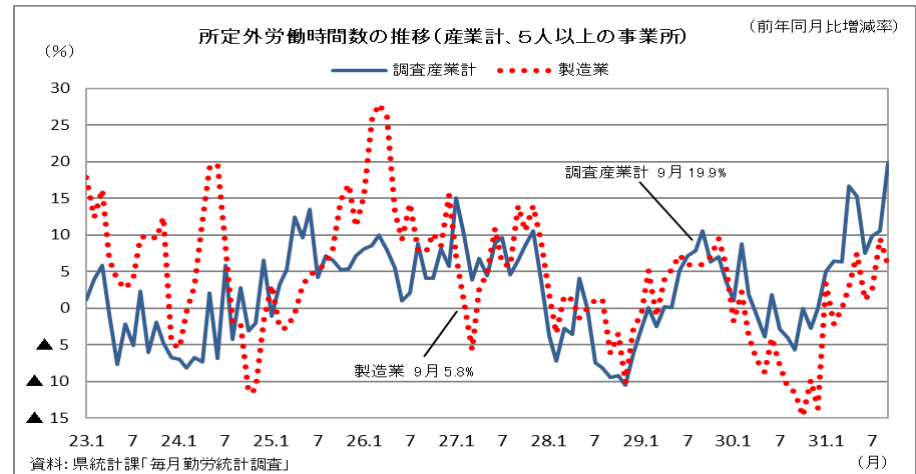
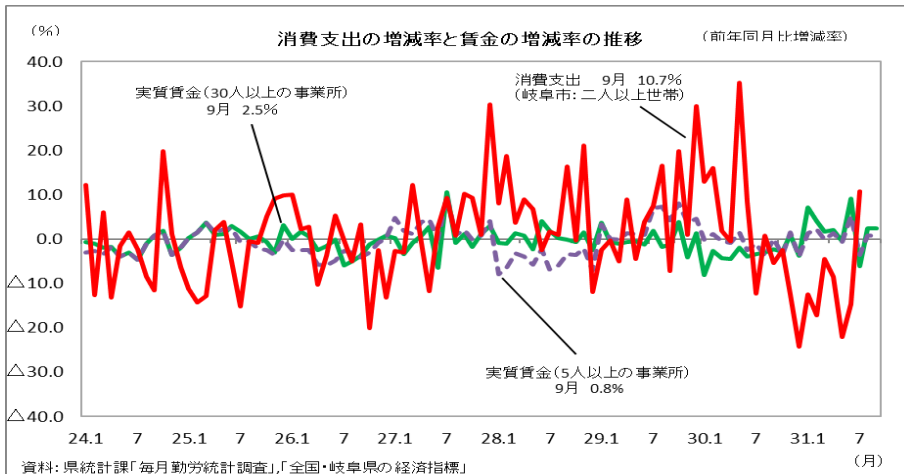
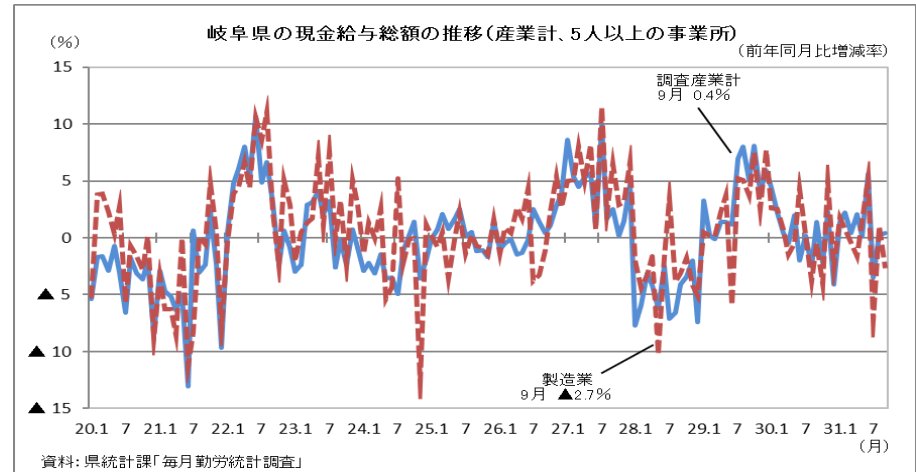
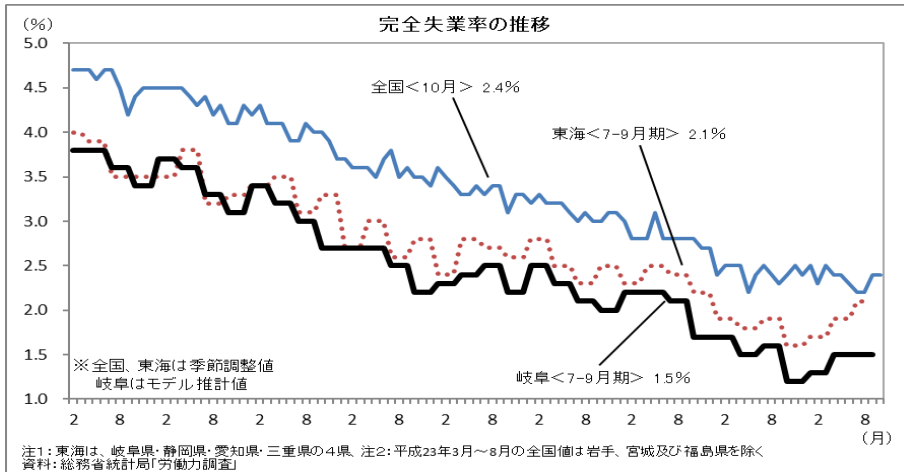
# 雇 用(高校新卒者の就職)

- 岐阜県の令和元年9月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は63.4%であり、前年同時点と比べ2.4ポイント上昇した。
- 全国の令和元年9月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は64.0%であり、前年同時点と比べ1.7ポイント上昇した。



# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の10月の完全失業率は2.4%で前月同水準。岐阜県の7-9月期の平均は1.5%で前期同水準。
- 9月の岐阜県現金給与総額は、全産業で前年同月比0.4%増加、製造業で同▲2.7%と減少。
- 9月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比0.8%、30人以上の事業所は同2.5%増加。消費支出については同10.7%と11ヶ月ぶりに増加となった。
- 9月の所定外労働時間数は前年同月比19.9%増加した。



## <経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、鉱工業生産指数で化学工業をはじめ多くの産業で前月比上昇した。ヒアリングにおいては、好調な受注を継続しているとの声も聞かれたが、輸送用機械、生産用機械を中心に、海外の経済動向を主因として、売上の減少や受注環境の後退等といった声が徐々に聞かれるようになっている。
- 地場産業は、鉱工業生産指数で木材・木製品や窯業・土石等が前月比で上昇したが、パルプ・紙や家具は低下した。ヒアリングにおいては、これまで同様、市場の悪化や原材料費、人件費等の高騰に対する懸念の声が聞かれた。
- 設備投資は、工作機械受注額について、国内向けは11ヶ月連続、海外向けは12ヶ月連続で前年同月を下回っている。ヒアリングにおいては、新規の投資や人手不足に対応した省人化への投資を実施したとの声もあれば、投資を抑制するとの声もあった。
- 個人消費は、小売店の10月の販売額については、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減により家電大型専門店やホームセンター等で前年同月比で大幅に減少した。ヒアリングにおいても、高額商品に消費増税の影響が大きいとの声が聞かれた。
- 観光は、前年と比較し、休日の日数が1日多かったものの、1ヶ月を通して降雨日が多く、天候に恵まれなかったため、観光客数、宿泊客数ともに前年同月を下回った。
- 企業の資金繰りは、借入環境に変化は見られない。一方で、金融機関としては、消費増税の影響をはじめ、為替動向、外部環境による企業への影響等を注視している。
- 雇用面は、有効求人倍率等の関連指標は下降傾向にあるものの、依然として人手不足は慢性化した状態と言える。一方、ヒアリングにおいては、受注量の落ち着きを主因として、人手不足感が薄まってきてはいるとの声も聞かれる。